

2014年度予算要求の回答書(その12) 今回は、
6. 防災対策の充実を①～③です。

6. 防災対策の充実を

①多数の人が利用する建物等の防災対策の点検を定期的に行い、改善を指導し、安全を確保すること。

多数の人が利用する大型店、雑居ビル等につきましては、定期的に立入検査を実施しているほか、他都市等で死傷者を出すような大きな被害が発生した場合には、市内の類似施設の緊急立入検査などを実施し安全性の確保に努めております。

今後も、防火対象物の安全性を確保するため、引き続き定期的な立入検査等を実施し、消防法に違反する施設等については、査察結果を通知し、改善を求めるとともに、防火安全対策の徹底を図ってまいります。(予防課)

②共同住宅、事業所に対する耐震診断および改修工事への助成制度を創設すること。

本市における共同住宅の現状の耐震化率の推計値は90%を超えるとともに、事業所の内、多数の方が利用する施設の特定建築物の耐震化率の推計値は概ね80%と認識しております。

一方、木造戸建て住宅の耐震化率は概ね70%と低く、戸建て住宅の耐震化が課題となっておりますので、現在、木造住宅の耐震改修促進事業を最優先に展開し、その促進に努めているところでございます。

共同住宅、事業所の耐震診断及び改修工事への助成制度につきましては、耐震化率等の現状及び制度への要望等勘案しつつ、その必要性等も含め、研究してまいりたいと考えております。(建築指導課)

③木造住宅の耐震診断・改修工事への助成は、混合住宅についても対応できるよう、工夫すること。

木造住宅の耐震診断・改修工事への助成は、昭和56年の法改正以前に建築された在来軸組工法の建築物が対象となっております。

また、混合(鉄骨造などと複合する)建築物につきましても、それぞれの構造が独立している場合など、診断が可能な範囲を補助の対象となるよう対応しております。(建築指導課)

放射能で「抜け殻のまち」



富岡町。放射線量がどんどん上がる。
富岡第2中学校で5・043。



この後は帰宅困難区域ということで放射線量の値が高

く、バスの中からの見学。道路の片側が原発から20キロ圏内で、立ち入り禁止の看板とバリケードがずっと続いていました。でも、簡単に越えられるようなバ



8月の法律相談

8月25日(月) 13時

前日迄の連絡を!



天神岬公園。モニタリングポストがあります。生コン業者が繁昌している。バス会社も除染作業員の送迎で大忙しだそうです。



駅の商店街には、人がいない。建物だけが残り、津波の凄さが物語る。

福島第2原発をつくるときは、反対運動があった。しかし、それ以前、第1原発で反対運動が無かったのは、土地が陸軍の飛行場だったことがあり、簡単に国策を受け入れるという状況だったから。

人のいないまちの不自然さ。人々の暮らしがあったはずなのに、抜け殻になってい



地震・津波の被害とは異なる、原発被害の特性を見た。なくなつて住めない、壊れて住めないとは違う。あるのに住めない。壊れているのに、直せない、片づけられない。どんなにか、苦しく、悔しいだろう。現地をみて、現地の声を聞けば、こんな事故、いえ、事件は二度とないようにと考えるのは当然です。

富岡駅。駅舎が流され、線路の向こうに海が見えています。残った改札のバー、ぐにやりと曲がった電柱が津波の凄さを物語る。

リケードで、泥棒が多いのだそうです。